

郡山市古川地区で魚のへい死(第2報)

郡山市古川地区の水路で確認された魚のへい死については、簡易測定の結果、人体の健康等に影響のある成分は検出されませんでした。なお、現在も河川巡視を実施しております。

※市内を流れる水路(新堀川)は、通常時は阿武隈川に流れておりますが、古川ポンプ場の試運転準備のため、25日(月)午前中からゲートを閉じており、水をためていました。

1. へい死の状況

- ・へい死が見られた場所

水路(新堀川)[郡山市管理]: 阿武隈川合流点から約100m上流(郡山市古川地区)

- ・へい死した魚の数

小魚 : 約100匹

- ・へい死の原因 調査中

現地の簡易測定結果 PH7 シアン・六価クロム…不検出

BOD、DO…異常無し

2. 現在の対応について

- ・9:45 災害対策支部【注意体制】を設置。
- ・下流部を河川巡視中。
- ・河川の監視を継続中。

※魚の死骸等を発見された場合は、下記に連絡をお願いいたします。

<<発表記者会:福島県政記者クラブ、郡山市記者クラブ、福島市市政記者会>>

問い合わせ先

阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会上流支局

国土交通省 福島河川国道事務所 河川管理課

TEL 024-546-4331(代表)

副所長(河川) 畠山 浩晃(内204)

河川管理課長 穴戸 善博(内331)